

# 労福協 NEWS

2010.4 No.48

## 地域に共生と協働を！

2010.2.10

「地域共生・協働研修会 in 徳島」開催

2月10日、徳島県内の労働者団体・労働福祉事業団体とNPO法人の連携を目指す研修会が徳島グランヴィリオホテルで開催された。NPO法人地域創造ネットワーク・ジャパン（東京）から是非徳島との強い希望があり、徳島開催となった。

労組と労働福祉事業団体から26人、環境や子育て、福祉、まちづくりなどを取り組んでいるNPO13団体、ほかスタッフ含め計48人が、必要とされる仕事や雇用・関係づくりについて意見交換しあった。この研修会後、ステップ2として参加NPO団体で活動体験を実施した。体験者からは「各団体の想いや熱意が伝わりとても良かった」と多くの声が寄せられた。



…グローバル化の中で格差拡大や貧困問題、  
生活物資の高騰など将来への不安が広がる日本社会…  
いま、社会連帯と市民の手による「新しい公共づくり」  
が求められています。  
人間らしく生き、働き、暮らすことができる社会作りを  
目指して、地域資源を活かした仕事おこし、各世代が  
交流できる居場所をつくり、誰もが生き生きと働ける  
徳島をつくるていこう

＜参加団体＞  
さわやか徳島  
徳島共生塾 一歩会  
社生  
どりーまぁーサービス  
Creer(クレエール)  
ゼロ・ウェイスト・アカデミー  
市民未来公社  
大きなエプロン  
フリースクール阿波風月庵  
自然派志向NATURAL&NATURE  
子育て支援ネットワークとくしま「すきっぷ」  
太陽と緑の会  
(以上NPO法人)  
友の会「ひまわり」  
(以上任意団体)

### 【ステップ2「フィールドワーク」レポートより】

訪問先…子育て支援ネットワークとくしま「すきっぷ」

●男性の育児参加に力を入れている企業において男性社員の育児体験を推進する。そうすれば、おのずと「すきっぷ」の存在が周知され、徳島県全体で男性の育児参加への意識が高まると思う。(20代男性)

訪問先…太陽と緑の会

●19歳～60歳の知的・身体・精神障がいを持つ人たちが、その人ができる能力を発揮し、助け合って自発的にスムーズに動いていたのには驚いた。自分の意見が言え「尊重しあえる場」はとても好感が持て「やさしい社会」の実態を垣間見たようだつた。(50代女性)

(社) 徳島県労働者福祉協議会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113 E-mail tokushima@rofuku.net

## 労福協

## 企業に活力をもたらす 『ポジティブアクション』実践セミナー

3月2日、アステイとくしまにおいて標記セミナーを開催し、行政、自治体議員、事業主、事業所の人事労務担当者、労働組合、労働者等、さまざまな立場の方々45名が参加しました。

久積育郎・労福協会長の主催者あいさつ、林善章・県商工労働部労働雇用政策局長の共催者あいさつの後、松本春美・徳島労働局雇用均等室長から『知っておこう！男女雇用機会均等法のポイント』として、1986年に施行され、1999年にポジティブ・アクションの規定が創設された同法の要点についての説明がありました。

続いて、龍谷大学経済学部の石川両一教授から『ポジティブ・アクションを企業戦略に！』と題して基調講演が行われました。講演の中で、今後15年間で見込まれる本県の人口減少数10万人はそっくりそのまま生産年齢人口であるという衝撃的な事実が紹介され、徳島県の経済を維持していくためには、女性の能力をいかしていくよう政策や制度を整備していくかなければならないということが提唱されました。

事後のアンケートからは「私自身の働き方から見直していきたいと思った」「積極的に女性を活用していくことが今後の男性の働き方にも影響を与えると思う」「女性が生き生きと働き続けるために、企業、個人、行政とさまざまな方向からの協力が必要であり、そのことが全体として能力開花につながるということを感じ



た」など、ポジティブ・アクションの取り組みをそれぞれの立場で実践していきたいという前向きな意見が多く見られました。

ポジティブ・アクションは人口減少時代における地域経済活性化のひとつの鍵であると認識し、今後もさまざまな周知啓発活動に取り組んでいきたいと思います。



「ポジティブ・アクション」パンフレット

・1月号（No.47）7ページに掲載いたしました徳島県高齢・退職者団体連合役員名簿に一部誤りがございましたので、お知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

徳島県高齢・退職者団体連合 2009～2010年度役員名簿

役職名	氏名	組織名
会長	小笠原 幸雄	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
副会長	多田 昇	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	宮本 剛	UJゼンセンシニア友の会徳島県支部
事務局長	山藤 正義	四国地方林野関連退職者の会徳島支部
事務局次長	坂尾 直也	徳島県労働金庫退職者の会
幹事	蒲生 真三	徳島県退職教職員協議会
〃	桑内 隆	郵政退職者会徳島県協議会
〃	濱田 永治	農林水産省徳島県退職者の会
〃	湯浅 貢	徳島バス労働組合高齢者退職者会
〃	福田 重徳	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	四宮 通治	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	松本 隆之	たばこ退職者の会徳島地区連絡会
〃	川野 靖豊	東亞合成徳島工場OB会
〃	国見 聖	徳島造船新来島ドック徳島工場退職者の会
〃	磯田 正江	徳島県退職女性教職員協議会
会計監査	山田 智資	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	後藤田 静子	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会

## 連合

# 働くすべての仲間の雇用維持と 生活の安定をめざして — 2010春季生活闘争開始宣言集会 —



2月5日夕、県労働福祉会館別館において「2010春季生活闘争開始宣言集会」を開催し、県春闘共闘会議に結集する各構成組織（33労組）から121人が参加。統一賃上げ要求を定期昇給分含む月額5,000円以上とすることなど、取り組む方針を決定しました。

集会は、加村事務局次長の司会、宮本連合徳島副会長の閉会あいさつに続き、主催者を代表して小松議長（連合徳島会長）は「2010春季生活闘争は、企業内のミクロの論理という壁を壊し、労働組合の社会的責任として、働く者全体を視野に入れ、先頭に立って行動を展開することが求められている。労働者一人ひとりが抱える不安や不満を受け止め、労働組合の輪の中に力を結集させなければならない。深刻なデフレ不況で労働者を取り巻く環境は厳しいが、定期昇給を見直すという経営側の姿勢は受け入れることはできない。2010春季生活闘争では、非正規労働者を含め、すべての労働者を労働条件交渉の枠内に入れるとともに、大手、中小、パートの取り組みも、統一的に賃金水準維持のための取り組みを展開することを確認しあうことが重要だ。すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会構築のため、県春闘共闘に結集し、全力を挙げて闘い抜こう」とあいさつ。

続いて、斎藤事務局長より「政権交代後の春季生活闘争では、内需を中心とした景気の回復と雇用の安定・創出で生活防衛をはかっていくため、政策・制度実現に向けた取り組みとの連

携を強化していく」とし、賃上げ要求では、賃金水準の低下を阻止するため、賃金カーブ維持分プラス500円以上。賃金カーブの算定が困難な組合は5,000円（賃金カーブ維持分4,500円含む）とすることや、非正規・パート労働者の待遇改善、総労働時間縮減・割増率の引き上げ、男女間の賃金格差是正、ワーカルールの徹底、などを具体的な要求課題として取り組む。また、2月末遅くとも3月末までに要求書を提出し、ヤマ場における回答引き出しや妥結をめざし、県春闘共闘会議の開催する諸行動への結集と春闘キャンペーンを推進していくこと、など2010春季生活闘争の方針と課題が提起され、全体の拍手で確認されました。

その後、民間大手部会（峰行・JP議長）、民間中小（平井・中小対策本部長）、官公労（藤岡議長）、地域部会（鹿山・徳島地協事務局長）からの決意表明に続き、2010春季生活闘争開始宣言（案）が下・女性委員会副委員長から提案され、全体の拍手で採択されました。

吉田連合徳島副会長の閉会あいさつ後、最後に、小松議長の音頭で団結ガンバローを三唱し、開始宣言集会を閉じました。



## ろうきん

福祉活動の団体を応援しています！

# 四国ろうきんの助成金制度

NPO・ボランティア団体のみなさまへ！

福祉金融機関の「ろうきん」だから出来ること！

ろうきんの基本理念と一致できる活動を行っている団体に対し1団体・20万円を限度とし事業資金の助成を行っています。

(ただし、過去に助成実績がある団体は10万円を限度とします。)



# 四国ろうきんの社会貢献活動

## 基本方針

四国労働金庫は、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。  
「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。

### ■ろうきんの基本理念

- ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
- ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
- ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
- 会員は、平等の立場で労金の運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
- ろうきんは、誠実・公平および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

# 四国ろうきん「助成金制度」

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、助成金を贈呈する制度です。

## ■助成金額

1団体 20万円以内

過去に助成実績のある団体は10万円以内

### 詳細については

総合企画部 TEL.087-811-8004  
E-メールアドレス : [manage@shikoku-rokin.or.jp](mailto:manage@shikoku-rokin.or.jp)  
または最寄りの営業店にお問い合わせください。

過去7年間に  
236件 4,226万円の  
助成をしています

## ■助成金対象団体の条件

助成対象団体は、NPO法人、社会福祉法人、その他住民の福祉の増進を図ることを目的とする法人及び任意団体です。

- (1) 組織の運営に関する定款又は会則のある団体
- (2) 1年以上の活動実績を有し、引続き活動できる団体
- (3) 10人以上の会員を有する団体

※労働組合や労働団体、自治会・町内会（コミュニティー）、PTA、校区の子供会、婦人会、老人会等については、助成対象外といたします。

その他詳細は、各営業店の助成金申請書の応募募集要綱に記載しています。

四国労働金庫ホームページ <http://www.shikoku-rokin.or.jp> の助成金制度またはNPOボランティア団体お役立ち情報をクリックして助成金ページを参照ください。



四国労働金庫

ホームページアドレス  
<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

金融機関コード 2987

## 全労済

# 「地区推進委員会」設立総会報告

日頃の労済運動へのご協力に深く感謝を申しあげます。

さて、全労済を取り巻く環境は、団塊世代の大量退職、景気の低迷、ワーキングプアに見られる勤労者の生活実態から、全体として共済推進に有利に働く経済環境とはなっておりません。特に、団塊世代の退職者の契約減少は、全労済の事業と経営に大きな影響を及ぼし、経済環境の変化への対応が急がれるところとなっています。

そうしたことから、今年度の県本部総代会では、県本部の今後の課題として、県内のどのエリアにおいても、全労済の事業と運動をさらに発展させていくために、『県内各地区での「推進機構」について検討を行っていく。』ことの確認を行いました。

これを受け、県本部理事会は、

- ① 労済運動の自主的な活動を通じて、組合員の生活向上と福祉の充実に努めていく。
- ② 組合員相互の共同と連携を図り、活動の経験交流と親睦を強め、職場と地域での労済運動を積極的に推進していく。
- ③ 活動を通じて、組合員の意見を全労済に反映させ、労済運動の民主的発展に寄与していく。

以上を主な目的として、県下4つのエリア（県央地区・北部地区・南部地区・西部地区）に「地区推進委員会」を設置していくことを決定し、2010年1月22日の西部地区推進委員会設立総会を皮切りに、順次各地区において設立総会を開催いたしました。

今後とも全労済徳島県本部は、協力団体・組合員一人ひとりの期待に応え、信頼され続けるため、事業展開と品質向上に努めるとともに、協同組合としての社会的責任を發揮し、地域と社会に貢献して参りたいと考えています。

引き続き皆さま方のご理解とご支援、ご協力をお願いします。

## 地区推進委員会設立総会開催日

- 西部地区推進委員会設立総会  
2010年1月22日(金)
- 北部地区推進委員会設立総会  
2010年1月29日(金)
- 県央地区推進委員会設立総会  
2010年2月1日(月)
- 南部地区推進委員会設立総会  
2010年2月15日(月)



【県央地区推進委員会設立総会風景】

勤労者福祉ネットワーク 2010年度にあたって

## 県内で働き暮らすみんなが利用できるサービスセンターの実現を

「徳島市勤労者サービスセンター『活性化・自立化・広域化』検討委員会  
基本構想が左記の理事会に答申されました。

国庫補助廃止に直面する徳島市勤労者福祉サービスセンター事業の活性化・自立化・広域化を検討・審議するため、財団法人徳島県勤労者福祉ネットワーク理事長の委嘱を受けて2008年3月に設立された「徳島市勤労者サービスセンター『活性化・自立化・広域化』検討委員会は2年間にわたる調査研究と審議を経て、基本構想を取りまとめました。

※2010年3月9日徳島新聞に掲載されました。

検討委員会では現状調査の実施ならびに先進的サービスセンター事例も参考に旧来型のサービスから脱却させ仕事と子育て両立支援、自己啓発、健康増進、障害福祉、家計応援といった新しいサービスメニューで会員拡大中です。



## わーくびあ徳島

福祉セミナー in とくしま 8 主催 徳島労福協

2月20日（土）13時30分～、福祉セミナー in とくしま 8 -あなたの家族は大丈夫！[貧困] がもたらすもの-を開催し、会員団体や社会福祉士会をはじめ、ヘルパー養成講座の修了生など101人の参加がありました。第1部として「福祉なんでも相談ダイアルの一年」（労福協のはな村田知江美）、「一人暮らし高齢者の社会的孤立について」（社会福祉士会坂尾昇二）と、高齢者の生活の実態・問題点など事例を示した報告がありました。



第2部は、「人間らしい生活と労働 反-貧困の取り組みから」と題し、あなん共同法律事務所代表の立石量彦弁護士から現在の取り組みについての講演がありました。立石弁護士は貧困問題との関わりが深く、反-貧困全国キャンペーン2009 in 徳島の代表を務められました。講演では、徳島の現状や日弁連での取り組みの話があり、最後に「憲法13条」を導きの星として、小さな都市から「世界平和」を目指すこと、そして連携の大切さについて話されました。

## 〈貸室のご案内〉

## わーくびあ徳島（本館）

室番号	面積(m <sup>2</sup> )	利用料金（税込）			標準収容 人数
		9:00~12:00	13:00~17:00	17:30~21:00	
502	120	¥10,700	¥14,300	¥16,800	学校式 70名

## ヒューマンわーくびあ徳島（別館）

室番号	面積(m <sup>2</sup> )	利用料金（税込）			標準収容 人数
		9:00~12:00	13:00~17:00	17:30~21:00	
301	26	¥4,200	¥5,300	¥5,500	学校式 12名
302	66	¥6,900	¥9,200	¥9,700	学校式 32名
303	28	¥4,200	¥5,300	¥5,500	学校式 12名
305	57	¥6,000	¥8,000	¥8,400	学校式 28名
大ホール	276	¥17,400	¥27,100	¥28,400	学校式 120名



わーくびあ徳島  
(徳島県労働福祉会館)  
徳島市昭和町3丁目35-1  
tel 088-625-5111



- 労働福祉会館の会員の利用料金は20%引きとなります。
- 社会福祉貢献団体については減免する制度があります。
- 上記以外にも貸室あります。
- その他 マイク¥1,050 プロジェクタ¥1,575  
大判プリント¥2,700 (594mm×3,000mmの場合)

## 新春お年玉プレゼントの結果

問題：○に当てはまるひらがな一文字をお答えください。

『ゆ○り宣言』フェスティバル2009

解答：「と」

ご多数の応募、ありがとうございました。

ご当選の皆様には図書券(1,000円)を  
発送致しました。

共同デスク編集委員会

## 笑顔

## ～心に残る「ことば」～

もしあなたが 「ほほえみの詩集」から  
誰かに期待した「ほほえみ」が  
得られなかつたら  
不愉快になる代わりに  
あなたの方から  
「ほほえみ」かけてごらんなさい。  
「ほほえみ」を忘れた人ほど  
「ほほえみ」を必要とする人は  
いないのだから (恭)

育児  
日記

○お正月に和服(妻のお古)を着せてみました。

普段は動きまくるのでシャッター速度の遅いカメラ(携帯)では全然撮れないのですが、このときだけは上品にすましてみました。

○お散歩が大好きです。

天使の羽根(赤ちゃんのお散歩ひも)はとても便利ですが周囲から注目されるので使用を控えています。(ふ)



ZENROSAI NEWS

# 社会貢献付 エコ住宅専用 火災共済

## 風水害等給付金付火災共済

## エコ住宅専用の 保障プランができました。

地球環境にやさしいエコ住宅に住みながら、住まいの保障でも環境に貢献する。そんな保障プランが社会貢献付エコ住宅専用火災共済です。これまでの火災共済と同じ保障内容で掛金は割引に。さらに毎年の決算状況に応じて掛金の一部を全労済から環境活動団体へ寄付します。全労済はこれからも、環境活動への貢献を側面から支援していきます。

お問い合わせ

# 全労済 徳島県本部 (徳島県労働生活協同組合)

〒770-0942  
徳島市昭和町3-35-1  
労働福祉会館1F  
**☎088-625-2340**  
営業時間/9:00～17:00  
(土曜・日曜・祝日を除く)

助け合いから生まれた保障の生協です

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただきて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

The logo consists of the Japanese characters '保障のことなら' (If it's about guarantees) in a black box at the top, and the large, bold, white characters '全労済' (All Laborers' Union) in a green box below it. Below the green box is the text '全国労働者共済生活協同組合連合会' (National Federation of Laborers' Mutual Benefit and Cooperative Life Association).

発行 社団法人

# 德島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (労働福祉会館内)

TEL. (088) 625-8387 · FAX (088) 625-5113

URL <http://tokushima.rofuku.ne>

URL <http://tokushima.rofuku>  
e-mail [tokushima@rofuku.net](mailto:tokushima@rofuku.net)

編集・発行人 久積育郎

印 刷 者 (有)フォトプリント白石